

吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和6年10月26日(土)
午後7時00分～午後8時30分
- 2 場 所 吉川町公民館 研修室
- 3 参加者 吉川地区 20人
市 17人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、吉川支所長、農業振興課長)
オブザーバー 4人
傍聴者 2人

4 内 容

- (1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

- (2) 意見交換

ア 吉川町合併後の20年とこれからの20年について

【吉川地区】

吉川においては、ハード面は整備された。しかしながら昨年実施した三木市総合計画の市民アンケート結果において、三木市に住み続けたくない、愛着がないという意見が市内10地区の中で吉川地区が最も多く、残念に感じた。一方で、吉川町商工会が吉川中学校の生徒を対象に行った授業の感想には、「ゴルフ産業が盛んな誇れるまちである。吉川の山田錦が全国の約1割を占めている。」など、子どもたちの市を想う前向きな感想があった。このアンケート結果や子どもたちの意見を踏まえ、吉川の抱える課題や、今後の吉川の立ち位置、役割等、市長の意見をいただきたい。

【市長】

三木市に愛着がないという点について、吉川町が三木市と合併して20年しか経っていないため、まだ愛着が薄い部分があるのかもしれない。質問が吉川町に対する質問であれば結果は違っていたと感じる。次に、子どもたちの前向きな感想については、山田錦などを含む素晴らしい地域資源を教育

として教えているのでそういった結果となったと考える。

交通の便が悪いとの質問もあったが、吉川地区では市内で一番にデマンド型交通を導入した。また、次世代の若者に三木市に住んでもらうために教育環境の整備や働く場の確保を行う。市内で一番に吉川地区に小中一貫校を設置する予定であり、ひょうご情報公園都市第2期の産業団地の整備にも引き続き取り組んでいく。さらに吉川地区においては、道の駅よかわ、兵庫県立総合射撃場などにより交流人口も期待できると思う。

今後も、三木市にある良いところをそれぞれの立場から発信していただきたい。

【吉川地区】

人口減少について、三木市全体としても減少傾向であるが、合併後の吉川地区の人口減少率や高齢化率が極端に高いと思っている。近隣の神戸市北区や三田市に住む方が多いように考える。その理由をどのように考えているか。

【総合政策部長】

三木市と吉川地区における2005年と2024年の人口減少率を比べると、市全体が14ポイント減少、吉川地区が29ポイント減少しており、吉川地区は減少幅が大きい。しかし、今年の9月末時点での65歳以上の高齢化率では、吉川地区は38.9%と、口吉川地区の44.5%、ニュータウンと呼ばれる緑が丘地区の39.9%と比較しても吉川地区が突出して高いわけではない。

若い世代の流出は三木市のみならず全国的な問題だが、特に若い女性の流出が多いとの報道がある。今後、女性の就労環境の改善にも取り組む必要があると考えている。

【市長】

やはり若い時期には、便利なところに住みたいと考える。しかし、田舎に住みたいという需要もある。こういった田舎に住みたい人を呼び込み、地域と一緒にまちを良くしていく時代である。地域においても、そういった方の受け入れ体制にご協力いただきたい。

【吉川地区】

みなぎ台を除いた農村部では、総務省が指定する過疎地域のエリア指定の基準を満たしている。特定地域づくり事業共同組合など、過疎地域で使えるような事業に取り組めないか、県に照会していただきたい。

【総合政策部長】

過疎地域や辺地地域の指定は、国の有利な財源が活用できる。条件面や、指定を受けることで他に影響がないかなどを検討した結果、市にとって有利であるということになれば、県、国と相談をしながら進めていくことが可能である。一度、条件などを兵庫県に確認する。

【吉川地区】

コロナ渦以降のゴルフブームや、道の駅よかわの開業により、吉川への流入人口が増えると思っているが、この流入人口による賑わいが定住に結びつくような施策はあるか。

【総合政策部長】

まちの賑わいがすぐさま定住人口の増加につながるかという、難しいと考える。しかし、三木市や吉川の良さを知っていただくことは定住に向けた大切な取り組みだと思っている。

道の駅よかわは、温泉隣接の特色ある道の駅である。そういった強みを活かした PR 活動をするなど、交流人口の増加に向けた取り組みの中で、まずは三木市や吉川の良さを知ってもらい、定住人口の増加に繋げていきたい。

【吉川地区】

道の駅よかわ周辺の交通渋滞への対策はあるのか。

【都市整備部長】

道の駅よかわの出入り口については、車両の入りやすい形で、県、警察とも協議して改良工事をしている。その後、実際に渋滞状況を確認して、随時できる対策をしていく。

【吉川地区】

吉川で出店場所を探している人から吉川には候補になるような土地がないと言われた。この先、新しい店舗や事業が来ないまちになるのではないか。出店可能なエリア区分を明確にしてほしい。

【都市整備部長】

吉川地区の土地利用については、都市計画法上でいうと、地区計画があるみなぎ台には制限があるが、それ以外では制限は無い。しかし、他法令により農地等には規制がかかってくる。具体的に出店したい場所が決まっているのであれば、建築住宅課で個別、具体的に相談に応じる。

【吉川地区】

吉川地区の小中一貫校設置に当たり市の意気込みと、メインで必ず進めていきたいことがあれば聞きたい。

【教育振興部長】

1点目は、ふるさと教育である。現在吉川では、コミュニティスクールの活動を通じて、地域の代表の方に授業をしてもらう新たな体験教育が生まれつつある。人・モノ・自然等を最大限に活用した、体験教育に今まで以上に力をいれたい。

2点目は、交流学習である。施設一体型の特徴を生かして、小学生と中学生と一緒に掃除をする、中学生が小学生に授業をしにいく、小学生が学んだことを中学生に発表しにいくといった交流授業も取り入れたい。

3点目は、オープンスクールである。保護者や地域の方にオープンスクールに来ていただき、子ども、保護者、地域の人が学校という場でつながるような取り組みを実施したい。

イ 地域農業の今後について

【吉川地区】

三木市の今後の農業施策についてお聞きしたい。

【産業振興部長】

農業の現状として、全国的に農業従事者は減少し、20年後には現在の4分の1にまで減少する見込みである。そのような中で、現在各地区で地域計画の策定にご協力いただいているが、農業の担い手がないのに、中長期の計画など立てられないという声をよく聞く。このままでは、農業だけではなく、農村自体が衰退すると考えている。

今後、市としては、認定農業者、新規就農者に対する支援を検討していく。また、持続可能な農業経営のための施策

を検討、実施していきたい。

【吉川地区】

農地が担い手に集中しているにも関わらず、機械や設備が追い付いていないために、稲刈りが終わっていない地区がある。現在、農家にそれぞれ出している補助金を担い手に集中するような検討はできないか。

【産業振興部長】

まずは担い手を増やしていくことが重要と考えているため、担い手を増やし、動きやすくなるような補助制度を考えていきたい。その内容については、担い手の方と意見交換しながら検討していきたいと考えている。

【吉川地区】

新規就農者を指導する親方農家に対しての補助があるか。

【農業振興課長】

親方農家への補助には、兵庫県の補助金で、年間最大60万円、最長4年間の雇用就農資金がある。

【吉川地区】

現在、吉川町各地区で作成中の地域計画について、地域計画の趣旨に沿わない、現実に即さない内容となっている地域がある。例えば後を継ぐ世代の意見が反映されず、70代、80代など親世代の意見や現状ばかりを反映した計画などである。

市のコーディネーターには策定後も引き続き地区に入ってもらい、将来の担い手になる方の現状把握や、農地の集積化などについて協力していただきたい。

【産業振興部長】

地域計画を策定して終わりではなく、その後の地域での話し合いや今後についても、市として協力していきたいと考えている。

【農業振興課長】

どの地区でも10年先は何とか現状維持できるが、その先は後継者がいないので分からないという回答が多い。せっかく地域との関係作りができたので、令和7年度以降も、地域と意見交換を重ねながら地区の課題を議論していきたい。

【吉川地区】

営農組合も認定農業者も高齢化し、今後、組織がなくなる、農業ができなくなるかもしれない。地域営農の統括組織があれば、緊急時の調整や、担い手がいない土地の調整もできるが、こういった組織化は全国的にも例が少なく、どういう組織をつくれればよいかかわからない。

1点目は組織化しているような先進地の視察や研修を市でやっていただきたい。2点目は、組織を設立するにあたり、資金と人材の支援を検討いただきたい。

【産業振興部長】

1点目の先進地の視察や研修については、市としても、担い手と地域、担い手同士が地区を超えて繋がるのは必要であると考えている。視察や研修会では、市も地域と一緒に勉強していきたい。

2点目の組織設立の準備資金、人材支援については、視察や研修会で勉強した上で、支援のあり方について検討していきたい。三木市のモデルとなるような組織作りであるため、市としても支援していきたい。